

1. 授業のねらい・概要

本講義では、有価証券報告書等を用いて企業の経営活動を分析する手法について学習をしていく。この報告書等の中心は、企業が外部に公表する財務諸表にある。この計算書類は、多くの場合、企業のホームページに掲載されており、投資家等の企業外部の利害関係者は、自らの投資意思決定のためにこれを分析し企業収益力の将来性や成長性等を見極めている。

ここでは、基本的に、企業外部の利害関係者の立場から分析手法を明らかにするが、経営者等の企業内部の利害関係者からの観点からも解説する。

2. 授業の進め方

基本的なテキストを使用して、財務諸表の仕組みを概観し、その後、企業のホームページから財務諸表を入手し、具体的な分析方法（収益性、安全性、成長性等）について解説を行っていく。

また、演習問題を解かせることにより、授業内容の理解を深めていく。

3. 授業計画

1. ガイダンス	9. 会計方針の意義
2. 財務会計の概要	10. 有価証券報告書の分析（1）（製造業）
3. 損益計算書の内容	11. " （2）（サービス業）
4. 経営分析のための利益概念	12. " （3）（その他）
5. 貸借対照表の内容	13. 外部の利害関係者の視点からの解釈
6. 経営分析のための純資産概念	14. 内部の利害関係者の視点からの解釈
7. 経営分析の手法（1）（損益計算書項目）	15. まとめ
8. 経営分析の手法（2）（貸借対照表項目）	

4. 成績評価の方法・基準

出席および授業への参加意欲を 40%、学期末試験を 60%の割合で評価を行う。

5. テキスト・参考文献

授業開始時に指示する。

6. 受講上の留意事項

なし